



12月20日(木)・21日(金)の2日間にわたり、17人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の下のカッコ内は所属党派名（無会派は会派に属さない議員）



見 武 男
(創志会)

市政について

質問

次期市長選に向けての考えは。

答弁

今期末

を市政運営の一区切りとして、市長の職から退き、来春の市長選には立候補しない意向である。

質問

これまで

に様々な施策を実施してきたが、これからの当市のあり方について市長の考えは。

答弁

これまで最重要課題としてきた人口減少対策は、継続して

取り組まなければならないと思っており、市有施設も老朽化が進み、待ったなしの状況である。また、当市の魅力であるすばらしい自然や織都13



桐生市役所

00年の歴史や文化は、市外へのPRはもとより、市民に再認識してもらいながら自信と誇りを持ってもらいたいと思っており、子供たちにはしっかりと伝えていく必要がある。平成31年度は、「桐生市新生総合計画」及び「桐生市まち・ひと・しごと

創生総合戦略」の計画期間の最終年度でもあり、集大成の年になる。また、当市の将来に大きな影響を与える「桐生市行政改革方針」や「桐生市コンパクトシ

ティ計画」、「桐生市シテイブランディング戦略」については任期内に策定したいと考えている。いづれにしても、残る任期、市民にとって何が必要か、将来に向かって何をなすべきかという目的意識を持って、全力で取り組んでいきたい。



渡 辺 恒
(日本共産党議員団)

公共交通の充実

質問

県立高校の統廃合に合わせて平成

答弁

33年4月にバス路線等の見直しが予定されている

というのだが、市民から、バス停がなく不便であることや、バス停の表示が見づらいこと等の意見が寄せられているので早期に対応できないか。おりひめバスは市内全7路線を11台の車両で相互に運行しているため、一部増便等



おりひめバス

の変更でも全体のダイヤに影響が生じてしまうことから見直しの実施にあたっては他の路線も含めた全体の運行計画案を慎重に作成する必要がある。破損や劣化したバス停は随時修繕しているが、時刻表等を大きく見やすい表示に変更することについては、利用状況や費用面等も含め検討したい。

質問

前橋市などの例に向けてタクシー利用料助成の制度を設けることについての見解は。

答弁

高齢者の移動手段の確保については地域包括ケアシステムを推進していく上で重要な課題の一つであり、地

域包括ケアシステム構築検討委員会においても高齢者福祉だけでなく、公共交通、都市計画などさまざまな観点から支援のあり方を検討している。本制度の導入についても移動支援の手段の一つとして、他市の事例等を調査し必要性や可能性、実施手段等を検討している。



正 男
(そうぞう未来)

皆沢地区の携帯 電話基地局

質問 携帯電話基地局整備の進捗状況とサービス開始までのスケジュールは。

答弁 実施事業者であるNTTドコモに確認したところ、12月28日には基地局が完成し、今後は、平成31年1月にアンテナ及び配線の工事や電波調整を行い、2月中には通話が可能になる予定と伺っている。

桐生市金券の 発行

質問 「桐生市金券」を発行し、各課で支出する報奨金や助成金を市内限定金券にすることについて当局の見解は。

答弁 金券交付を実施した場合には、市内で金券を使用して買い物をしていただくことにより、地域経済の活性化につながる一



皆沢地区携帯電話基地局

定の効果があるものと考えている。一方で、金券の使用が市内登録店舗に限られるため、交付を受けた市民は、希望する買い物ができなくなる可能性があることや、金券作成等に伴う経費が発生すること、また、職員の事務負担が増大することなどのデメリットも考えられることから、実施にあたっては十分に検討する必要がある。また、補助金や報奨金等については、それぞれに目的、内容が異なるため、所管する各部署において実現が可能かどうか検討する必要があると考えている。



藤 英 人
(創志会)

キャッシュレス決 済のポイント付加

質問 キャッシュレス決済のポイント付加について、当市での導入は。

答弁 キャッシュレス決済のポイント付加制度については、国が実施するものと認識している。なお、小売店の端末機器導入に対する補助など関連して実施される事業について、自治体の実施または関与することになった場合については、国の制度に沿って実施してまいりたい。



キャッシュレス決済イメージ

ための対策について。
答弁 今回の消費増税対策については、国において、平成26年に消費税を5%から8%に引き上げた際に、予想外の消費低迷が生じた教訓を生かし、景気対策を万全なものとするため、9項目にわたる対策を実施するものとするものとして認識している。当市としては、キャッシュレス決済へのポイント付加制度において、市民や小売店等への周知を徹底し、商工会議所等の関係機関と調整を図り、また、市民からの相談等に的確に対応するなど、必要な支援を行ってまいりたい。

いずれにしても、各対策の決定にあわせ、関係部署において、実施や支援の内容について検討されるものと考えている。

消費増税後の対策

質問 消費増税後に景気悪化とならない

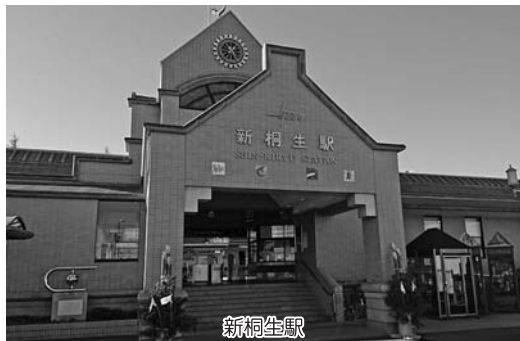


河原井 始
(クラブ 21)

新桐生駅構内の バリアフリー化

質問 新桐生駅構内のバリアフリー化を

答弁 新桐生駅構内のバリアフリー化は



新桐生駅

当市の重要課題として、これまで東武鉄道や国に対して要望を続けてきたところである。東武鉄道も平成32年度完了予定の「新桐生駅前広場整備」に合わせた工事に着手できるように国に要望をあげているところであり、今後東武鉄道や群馬県と協力しながら、国への働きかけを継続して行ってまいりたいと考える。また、「市費を投入してエレベーターの設置を行う」という提案に対しては、本事業はあくまでも東武鉄道が実施主体となる事業であり、東武鉄道や群馬県とこれまで力を合わせて取り組み、確約はできないが国の採択まであと1年か2年のところまでこぎつけてきたことから、この段階で市費をさらに投入することは考えていない。

- その他の質問項目
- ◆桐生市長3期12年間を振り返って
- ◆財政力の推移について
- ◆桐生市水道事業の在り方について



飯島英規 (無党派)

歴史まちづくり

質問

「歴史と文化が地域を元気にする」と題した講演会の中で、2つの成功事例が紹介されたが、どのような内容で、どのようなスキームなのか。また、成功事例を踏まえ、桐生新町重要伝統的建造物群保存地区を持つ当市として効果的な施策を積み重ねる考えがあるか。

答弁

平成14年に重伝建地区に選定された福岡県八女市八女福島地区は、空き家、空き店舗及び空き工場の増加が課題であったが、ものづくりの場としたことで、若いアーティストが移り住むようになり、休日には製品を直接買いに来る人が増え、観光客の増加に繋がった。また、家賃が安く平日は静かで創作活動に最適な環境であることが口コミで広ま



市内の重伝建地区

り、現在は、空き家や空き店舗が足りず空き待ちの状態だという事例が紹介された。また、平成25年に重伝建地区に選定された秋田県横手市増田地区でも同様な課題があったが、重伝建地区の選定により建物の修復が進み、観光客も増えたことで、今まで1件もなかったカフェが、空き店舗を利用して4件増えたという事例が紹介された。当市の重伝建地区においても、同じように空き店舗等の活用が始まっているので、先進地の事例を参考に、当市ならではの施策について、関係部局と連携し研究していきたい。



北川久人 (創志会)

高速道路の誘致

質問

高速道路のインフラは県内では当市とみどり市だけであるが、今後何十年も持続可能なまちにしていくためには高速道路を通すことは非常に重要と考える。関越自動車道と東北自動車道の間に東京外環自動車道や北関東自動車道から分岐し、当市や栃木県日光市を通過し、福島県の磐城自動車道に接続するような高速道路の整備を国に要望することの見解は。

答弁

構想路線にある日光市は国内外から高い人気を集めている観光地であり、歴史的



高速道路イメージ

な観光資源を有する当市と高速道路で直結できた場合、大きな経済効果が期待され、大変夢のある計画であると思う。しかし、高速道路の建設は現在、高規格幹線道路として建設すべき道路の予定路線が約14000km定められているが整備率は平成28年度末でおよそ80%に留まり、残る約2700kmの未整備区間の整備が優先されると考えられ、また路線決定にも構想から40〜50年を要することが想定される。今後迎える人口減少社会において、交通需要の減少などを勘案すると課題は多いが、未来への構想として引き続き、手法や手続きなどを研究してまいりたい。

その他の質問項目

- ◆ 遊園地トイレ
- ◆ 動物園藤棚広場



田島忠一 (そうぞう未来)

ふるさと納税

質問

平成29年に桐生市民が他自治体へ寄附したふるさと納税の寄附金額は。

答弁

桐生市民が自治体へ寄附を行った人数は1134人で、寄附金額は1億2425万4207円となっている。なお、この数字には税務の統計上一般的にふるさと納税といわれる寄附以外の自治体に対する寄附



ALT

全般が含まれている。また、桐生市民が桐生市に寄附をした人数及び寄附金額も含まれている。

質問

答弁

平成29年の桐生市への寄附金額は、ふるさと桐生応援寄附金の寄附者は、71人(75件)で寄附金額は397万円である。

ALT

質問

ALTの先生方には桐生市の織都1300年の歴史、文化、自然を味わっていただくことにより、国に帰られたときに桐生での仕事や生活、桐生市民との関わり合いが楽しく、すばらしいものだったと思っただけで、それが大切と考える。それらを今後どのように行っていくのか。

答弁

ALTとして英語や異文化理解の業務に係る情報交換をALTミーティングで優先させつつ、当市の良さを知ってもらうために、夏休み等に市内の施設をめぐる機会を設けることも検討してまいりたい。



山之内 肇 (公明クラブ)

太陽光発電施設 置に関する条例

質問

当市の特性を十分に踏まえた上で住民の安全、安心、不安の解消を第一義と捉え、山林への太陽光発電施設設置に関する適切な事業推進に資するための条例を早期に制定するべきということを強く求めるが見解は。

答弁

旧桐生市内の宅地造成工事区域内における事業計画に対しては、法律や規則に則った造成をすることから、事業実施に係る地域住民の安全安心は、確保できていると考えているが、当市全体に対しても良好な自然環境や景観を守るとともに、事業地周辺住民の不安を解消していくということは重要であるという認識から、他市の事業状況や条例を研究しつつ、現在、条例の制



市営住宅

定を検討しているところである。

市営住宅の基準 見直し

質問

単身で入居できる部屋の数を増やし、入居を希望される単身世帯に対して適切な入居を促せるよう、速やかに基準を見直すべきかという見解は。

答弁

単身での入居の需要は増えており、基準の見直しの必要性は認識していることから、桐生市公共施設等総合管理計画を踏まえ、施設の集約も考慮しながら、基準の見直しの検討を進めていきたいと考えている。

敬老祝い金



藤 光 好 (創志会)

質問

人生100年時代を迎えてますます高齢化率が高くなり、現在、当市は人口減少率、高齢化率ともに県内12市中最も高い。多年に渡り社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝い、思いやる考えを持つことは、重要課題である人口減少をめぐると問題克服に向けた一躍になると考えるが、当市及び他市の敬老祝い金の実施状況について伺いたい。

答弁

当市の敬老金支給事業については、各年度の9月1日時点における年齢が80歳の人に5千円、85歳の人に1万



慶祝訪問

質問

現在、00歳の誕生日を迎えた人に随時支給をしている。

答弁

人が出てしまうが、同じ年度中に生まれた方々を対象として当該年度末を基準日とする考えは、今後研究してまいりたい。

水路、河川の ナーアアップ



岡 部 純 朗 (そうぞう未来)

質問

当市で実践しているごみ捨て防止対策は。

答弁

当市で行っている防止対策は、各法令や桐生市不法投棄防止条例及び桐生市ポイ捨て等防止に関する条例に基づき、県や警察などの関係機関、市の関係部署、桐生商工会議所、各種事業者、桐生市ごみ減量化推進協議会などと連携して、不法投棄の防止や環境美化に関する啓発等を行っている。また、市民などから相談があった時には、ごみ捨て禁止の看板の交付を行っている。

質問

当市はいろいろな施策の中で山紫水明を宣伝している。当市を訪れた観光客に、ごみが落ちていないきれいな街だと思ってもらいたい。水路、河川のマナーアップに

答弁

きれいな水路、河川を実現するためには、市民一人ひとりのマナーアップが必要不可欠であると考えている。今後関係部局が連携を密にしなが、事あるごとに水路、河川の環境美化に対する意識啓発を行い、市民モラルの向上に努めていきたい。また、市民意識を高める効果的な方法については、まだまだ研究の余地があると考えている。

◆その他の質問項目 ○狭隘道路安全対策



ごみ捨て禁止看板



園田基博 (創志会)

わがまち基金

質問

わがまち基金を活用した地域創生

支援スキームに、桐生信用金庫の桐生独自のローカルシェアリングエコノミー圏構築事業が採択され、地域の企業が抱える課題の解決に向けた取り組みを進めているが、今後のキッズバレイやジョブラボぐんまとの連携は、現在、キッズバレイにおいては、企業の販路拡大を支援するため、地域の魅力的な産品を販売するECサイト等の構築を目標としている。またジョブラボぐんまにおいては、企業の人材確保と就職希望者を支援するため、就職希望者だけでなく、その家族や教師を対象とした企業情報冊子の作成や企業説明会を開催予定であるなど、企業の情報が地域の中で循環する仕組み



わがまち基金を活用した地域創生支援スキームの記者会見

- ◆ その他の質問項目
- ◆ 高校生発の地方創生
- ◆ 防災対策
- ◆ 有害鳥獣対策

みづくりを進めている。本事業は民間企業ならではの専門的な知識や幅広いネットワークを活用した大変有意義な事業であるので、当市としては広報やホームページ等によりECサイトへの参加募集や就職情報冊子に関する情報の周知など民間主体の取り組みがより大きな成果を生み出し、地域全体のイメージアップにもつながるよう引き続き適宜適切な支援に努めてまいりたい。



関口直久 (日本共産党議員団)

高齢者が安心して暮らせる社会

質問

介護保険料の引き下げと利用料の負担軽減の取り組みは。

介護保険料については、所得段階が第1段階の人を対象に0・05の公費負担を行い、負担割合を0・45に引き下げている。また、所得段階の負担割合を低所得の人へ配慮し、14段階の多段階の設定などを行った。負担軽減については、1か月の利用者負担の合計額が、所得に応じた上限額を超えた場合には、超えた分を高額介護サービス費として支給するなどの制度がある。



桐生厚生総合病院

桐生厚生総合病院

質問

総合病院や中核病院としての機能と役割は。

一般的に総合病院とは、内科や外科、その他複数の診療科を持ち、病理など臨床検査の設備もあり、入院用ベッドを100床以上備える病院とされ、中核病院は、地域の医療連携の中核となり、かかりつけ医で行うことが難しい専門的な検査や他の医療機関では提供することが困難な医療などを提供する役割を担うものである。桐生厚生総合病院は、入院用ベッド471床を備え、地域医療支援病院やがん診療連携拠点病院など国や県からの指定を受けており、桐生地域における中核病院として総合的な役割を担っている。



新井達夫 (そうぞう未来)

小中一貫校についての研究経過

質問

黒保根での研究の内容は。

最初に、小中一貫教育の基本的な考え方や目指す姿を黒保根小・中学校の全教職員が共通理解できるように説明した。次に、学校と教育委員会、黒保根支所の職員が、全国の小中一貫教育の先進校4校を視察し、それぞれの立場で何が必要かを確認した。



黒保根中学校

質問

道路側線やセンターラインが見えない箇所の危険性について、例えば、相生町の旧清掃管理事務所付近及び最終処分場付近の道路で、道路側線やセンターラインが消えて見えない場所があると思うが、そのことは承知しているか。

部分的に消えている箇所があることは承知をしている。しかしながら、その区間には、舗装自体が劣化している部分もある。限られた予算の中で、まずは現地調査を行った上で、著しく車線の認識ができなくなっているなど緊急度の高いところから、ラインの引き直しに着手したいと考えている。



伏木 康雄 (無党派)

市長職の役割

質問

一般論として、市長職の役割とはどういったものがあるかと認識しているか。また、当市の顔役であり、自身の言動で示す役割もあると思うが、それに対する見解は。

答弁

一般論としての市長職の役割について、まず、市長の権限については、地方自治法第147条において「普通地方公共団体の長は、当該普通地方公共団体を統轄し、これを代表する」と規定されている。また、桐生市職務権限規程第16条においては市長の職務として「市長は、市民の福祉を増進するため、市政の最高責任者として市を代表し、市政を統括する」と規定している。このように、市長は対外的には当市の代表

者であり、市長の意思は当市の将来を左右する重要な職責を背負っている。また、市長は市内の掌握はもとより、議会との調整を図り、首尾よく対外折衝を進め各施策の成果を上げ、市民の負託に応えるべき重要な舵取りを担っている。

当市の顔役ということに関しては、市民の皆様が当市に誇りを持ち、自信を持つことが一番と考えることから、良いところを伸ばしながら市民の皆様が前に向かって進めるような市としての顔役でありたいと12年間やってきたつもりである。



桐生市役所



周 東 照二 (公明クラブ)

大規模盛土造成地

質問

県がマップを公表しているが、大規模盛土造成地とは、どのようなものがあるか。また、調査方法は。

答弁

大規模盛土造成地には、「谷埋め型」と「腹付け型」の2種類がある。また、県による調査は、過去と現在の空中写真や地形図をもとに机上で調査を行い、盛土箇所を判別し特定したと聞いている。



大規模盛土造成地マップ【桐生市】

大規模盛土造成地マップ

市内の状況と防災マップとの関係及び今後の対応は。質問 対象となる箇所は、川内町5丁目、相生町3丁目、菱町1丁

目から3丁目の5地内にあり、既に宅地造成工事規制区域内にあるため新たに造成宅地防災区域に指定されることはない。また、既存の地震防災マップと重ね合わせた場合、揺れやすさは、5か所とも「最大で震度6弱」、地域の危険度は、菱町1丁目地内が「2%以上5%未満」、外4地内が「0%より大きく1%未満」。液化化危険度は、川内町5丁目地内で「低い」、菱町3丁目地内が「極めて低い」、外3地内が「液化化対象外」となる。

今後、第2次調査をする予定はないが、市ホームページに耐震改修や防災対策に生かせるように分かりやすく更新したい。

質問

市内の状況と防災マップとの関係及び今後の対応は。

答弁

対象となる箇所は、川内町5丁目、相生町3丁目、菱町1丁

新里町デマンドタクシー



久保田 裕一 (そうぞう未来)

質問

今後の利便性向上及び利用者増加に向けて、発着点を新里町外に拡大していくことについての見解は。

答弁

現在検討している発着場所は、桐生厚生総合病院や隣接市の病院、日帰り温泉施設、赤城駅、大間々駅、岩宿駅などを候補として考えている。利用者の利便性の向上や鉄道の利用促進に繋がることが期待されるが、朝の混雑時に予約が集中し、予約が取りにくくなることも予想されることから、寄せられる意見や費用対効果を考慮し慎重に検討したい。

「圏域」単位のまちづくり

質問

総務省の諮問会議「自治体戦略2040構想研究会」の二次報告におい

答弁

報告書では、個々の市町村が行政の全てのサービスを維持するという考えから脱却し、圏域単位での行政を基準としながら、戦略的に圏域内の都市機能を守ることに、また広域的な課題への対応力を高めるといった今後の市町村連携についての方向性が示された。当市が抱える将来的な課題をしっかりと把握し、行政サービスを維持向上していく上でも意義があると捉えている。



デマンドタクシー

- ◆ その他の質問項目
- ◆ 下水道事業
- ◆ 婚姻届受理証明書